

地下水位の回復にともなう広域地盤隆起の問題とその地中施設への影響に関する研究委員会

議事録

1. 日 時 : 平成22年6月4日(金) 15:00~17:00
2. 場 所 : 地盤工学会 地下会議室
3. 出席者 : 小泉委員長、田中副委員長、スレン幹事、伊藤(民)幹事兼委員、斉藤委員、森山委員、松川委員、松永委員、高橋委員、伊藤(圭)委員、蘭委員、齋藤委員、白石委員、野口委員、金田委員、相内委員、小野委員、杉山オブザーバー、馬場オブザーバー
4. 欠席者 : 片岡委員、日下委員、岩波委員
5. 議 題 :
 - (1) 委員長挨拶
 - ・小泉委員長より委員会開催の挨拶があった。
 - (2) 委員の自己紹介(委員名簿)
 - ・各委員の自己紹介があった。
 - (3) 報告事項
 - 1) 委員会設立までの経緯等について
 - ・JGS 関東支部 HP に掲載された委員会設立の背景と趣意および委員会設立までの経緯について説明があった。
 - ・スレン幹事より当委員会に関係する既往論文の紹介があった。
 - ・杉山オブザーバーより被害事例を踏まえ、研究当初の背景について説明があった。
 - 2) 当研究委員会の活動成果について
 - ・JGS 関東支部研究委員会グループで作成された覚書を基本とし、当研究委員会の活動成果の取り組みとして、以下が示された。
 - 活動成果は報告書としてとりまとめる。
 - 先進的な内容なので、成果は国内外に対して情報発信できるものとする。
 - 学会支部活動(Geo-Kanto DS等)に積極的に参加することとする。
 - (4) 審議事項
 - 1) 活動内容について
 - ・スレン幹事より、当研究委員会における研究テーマ(案)とWG計画(案)について説明があった。
 - ・今年度(H22)は、「地盤隆起データ収集WG-1」、「地盤隆起メカニズムの再現と予測法の開発WG-2」、「被害事例収集と影響検討WG-3」の三つのWGに分け活動することが了承された。
 - ・次年度(H23)は、「対策工法の検討」を、最終年度(H24)は研究成果のとりまとめと、講習会あるいはシンポジウムの開催を予定することが承認された。
 - 2) 活動体制について
 - ・WG構成委員を決定し、WG長をそれぞれ伊藤(圭)委員(WG-1)、伊藤(民)委員(WG-2)

蘭委員（WG-3）と了承された。

- ・WGの活動についてはWG長が招集し、それぞれの構成委員に連絡する。
- ・WGの活動スケジュールと整合を図り、H22年度の委員会開催は4回を予定する。

6．次回の委員会開催について

- ・次回の委員会は9月末を予定し、開催日時はメール審議により決定する。

以 上